

## 校長室より⑧

### 天龍中三角ベースボール(11月)



天龍中学校では、体育の授業を全て1・2・3年合同の全校（現在12名）で行っています。人数が少ない事や異学年合同で行う事などを考えて、それぞれの種目の行い方を工夫して、その種目のもっている楽しみ方（特性）を味わえるようにしています。ベースボール型の学習では三角ベースで、より楽しめるようにルールやマナーを生徒が考えて学習しました。チームで作戦を考えたり、互いに声を掛け合ったりと主体的に運動を楽しむ様子が見られました。

時には職員がチームに入ったり、若鮎タイム（放課後の全校活動）では、職員も一緒になって三角ベースを楽しんだりもしています。

この授業では、下伊那体育研究会の公開授業として長野市から講師の先生をお招きし、下伊那の体育の先生方が参観し、学び合いました。

### 進路講話(11月15日 22日)



下伊那の高等学校の校長先生にお出でいただき、高校生活について、またその先の進路についてお話をさせていただきました。阿南高等学校の浅井校長先生と飯田女子高等学校の有馬校長先生からお話をうかがいました。3年生は進路選択の時期が迫ってきています。また2年生は、自分の進路について具体的に考え始める頃です。自分の思い（理由）や願いをもって将来の自分を想像できるようにする事が大切である事や高校では中学校と違ってどんな学びがあるのか、また高校での学びによってその先をどう考えていけば良いのか考える機会となりました。

『最終的に決めるのは自分だから、そこが良かったと思えるのも後悔するのも自分だから、今を考えるのも大切だけど、将来自分がどうありたいかを考えるということも大切だと感じた。そこで自分には何が必要か考えたい。』（生徒の感想より）

## 村総合体育館建設現場見学会(12月13日)



令和6年度、天龍中学校は現在の天龍小学校に移転し併設校となる予定です。現在天龍小学校で、村の総合体育施設と兼ねた小中学校の体育館を建設しています。その建設現場の見学会を行いました。現場責任者の方からどんな体育館になるのか、どのように建設が進められているのか、現在はどんなことをしているのか等を説明していただきました。

天龍村の木材を多く使った体育館として、村当局や現場の方々の様々な思いの詰まった建設になっていることを感じられました。

もうすぐに屋根ができあがり、今年度末には竣工式を迎えることとなります。屋内の工事がある程度したらもう一度見学させてもらえるようです。完成したらどんな体育館になるのか楽しみです。

## 第3回小中併設体験(12月20日 21日)



今年度3回目の小中併設体験は2日間実施で、保護者や村の関係者にも一般公開をし、学校生活の様子を見ていただきました。また、小中学校の職員が乗り入れ授業も行い、職員の研修の機会としました。さらに1日目の午後には学校保健委員会を行い「メディアとに付き合い方」について児童・生徒・職員・保護者で学び合いました。

子どもたちは始業前から仲良く小中学生と一緒に走ったり、遊んだりする姿が見られました。職員は、乗り入れ授業の振り返りを行い、授業を通じて9年間の学びを実感し、自己の授業改善への課題も新たに见えてきています。子どもも職員も良い学びの機会となりました。